

北九州市民の会ニュース

北九州母親大会

平和がいちばん



6月9日(日)午後、レインボープラザで、第61回北九州母親大会がありました。以下の内容で行われ、交流を深めました。

■分科会 13:00 ~ 15:00

- 第1分科会 学校給食費無償化をめざして！
報告：宮崎雄士さん
- 第2分科会 暮らしと介護
助言者：森川尚子さん
- 第3分科会 平和と憲法
東敦子さん、神陽子さん

■全大会 15:10 ~ 16:00 運動交流の紹介

- ・業務に見合った教職員の増員と業務量の削減こそ必要
高津 純子さん
- ・「高齢者補聴器購入助成金制度の創設を求める会」
の取り組みについて 河村智重子さん
- ・所得税法 56 条廃止を求めて！ 浦崎 明子さん
- ・門司港遺構の現地保存をつよく求めて！ 中川研治さん
- ・「戦争の準備をやめさせよう！」 八記久美子さん

小倉南革新懇が総会

政権の暴走とめよう

6月16日(日)、小倉南区革新懇の第14回総会がありました。小倉南革新懇は、2010年9月23日結成されて以来毎年総会を開き活動方針を決め、地道に運動を広めてきています。

昨年に続いて記念講演をしたのは田村貴昭衆院議員。圧巻の講演でした。田村さんは、自民党の裏金事件や大軍拡・大増税、暮らしの問題をめぐり党の国会論戦を紹介。「安保3文書」に基づく敵基地攻撃能力の保有



など、5年間で43兆円の大軍拡・大増税を批判し、総選挙では、九州・沖縄で比例2議席を勝ち取り、岸田政権の暴走を必ず阻止しようと訴えました。

また藤沢加代市議が市議会報告。来年の市議選で藤沢氏のバトンを受ける新人の、うど浩一郎市議候補が「勝利のために全力で頑張る」と決意をのべました。

平和ネットが19日行動

自公政権退場させよう



6月19日(水)、今日は、平和をあきらめない北九州ネットの毎月19日の定例行動日。

小倉駅と折尾駅でアピールした。ちょうどこの日の午前中に抜け穴だらけの政治資金規正法改悪案が自公の賛成多数で決まったばかり。リレートークも配布ビラも反響が良かった。国民、市民は自公政権にうんざりしている。社会は変えられる。平和をあきらめず力を集めましょう。

平和と暮らしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F

TEL 093-592-5000

fax 093-571-4346

http://siminnokai.sakura.ne.jp

e-mail:koe@siminnokai.com



市民の会 企画運営委員会開催

武内市政の独断専行許さない

6月21日(金)、18:30～20:30、生涯学習総合センターで、「市民の会」は、企画運営委員会を開催しました。最初に、特別報告として荒川徹市議団長より市政報告。1年4カ月たっても、市民の声を全く聴かず、トップダウンで独断専行する武内市政を暴きました。ついで、7月4日(木)の幹事会に提案

する活動方針について報告・討議しました。

その他として、植山光郎委員より、学習会「部落問題解決の地域的偏差研究と北九州市の同和行政検証プロジェクト(6月29日Ⓧ1:30～16:00北九州市民センター)への参加要請がありました。最後に決算と予算案を承認しました。

三つの市民運動の報告

- ①「学校給食の無償化をめざす会」の活動状況について
- ② 高齢者補聴器購入助成制度の創設をめざす会」の活動状況について
- ③「初代門司港駅跡の保存を求める会」の活動状況について

北九社保協通信

報告・資料集 2024年5月号
5月31日 事務局発行

「生活保護 110 番に 10 件の相談・・・」

「物価高が高齢者や生保受給者を直撃」

2024年5月21日に奇数月の第3火曜日に継続して取り組んでいる「生活保護 110 番」を実施しました。当日は残念ながらマスコミの取材や事前報道もありませんでしたがこの間同様、地域に配布しているチラシを見ての電話相談が8件、面談相談が2件の計10件の相談がありました。今回も物価高騰の影響をうけて低年金の高齢者や生保受給者からの相談が多数ありました。「高齢の母親と2人住まいで2人の年金で何とか生活していたが、母が死去。自分の年金だけでは生活が苦しい」「高齢の両親の件で娘さんから相談。母が特養に入所中。2人合わせても年金額が少ないため入居費用など経済的支援をしてきたが、自身の子供が来年から大学に行くためこれ以上の援助が出来ない。」と言った深刻な相談も寄せられました。また、60代単身の方から「年金額も少なく役所に生保相談に行ったが受け付けてもらえなかった。」という方は話しを聞くと預貯金とバイクを所持していたため、預貯金が多いと難しい旨とバイクは状況に応じて所持も可能との話をしたが「預貯金があったらダメ。バイクは処分をと役所で言われた」との事で「どうにもならないですね」と一方的に電話を切られたが、役所の対応であきらめる方が少なくないと相談会を通して感じるようです。今後、国の物価高騰対策である激減緩和措置も終了予定であり、さらに生活が逼迫する方々が増加する懸念もあり、引き続きそういった方々に寄り添い支援する活動を行っていききたいと思います。



小・中学校運動会で「学校給食無償化！」の宣伝行動を実施

北九州市社保協が事務局を担う小倉北区区民の会で先月の小学校・中学校それぞれの入学式に合わせ実施した「入学おめでとう！給食無償化宣伝行動」に続き各学校で開催される運動会にお邪魔をし、宣伝・署名行動を実施しました。お孫さんの応援に遠方から来たという方と対話になり「北九州市は給食無償化になってないの。子育てしやす



街って言うのにおかしいですね。」と快く署名をしてくれました。日にちを変えて小学校・中学校と各1校ずつの取り組みでしたが、それぞれ1時間の活動で両日合わせ93筆と多くの北九州市でも給食無償化を求める賛同署名を集めることができました。